

おおあさひ支部報

第104号

笠間市社会福祉協議会大旭支部
 発行 大旭支部長 菅原 毅
 編集 大旭支部広報委員会
 発行日 平成26年12月20日
 印刷 有限会社大塩企画



意見交換が熱心に

9月19日、笠間市社会福祉会館で、「友部第二小学校区学校安全ボランティア」の発足式が開催されました。開式のことばに続いて、最初に友部第二小学校長の富永ひろみ先生の挨拶がありました。さらに、社協大旭支部の菅原毅支部長より、学校ボランティア発足までの経過、およびボランティア募集に対して、47人の応募があったとの報告がありました。

オレンジ色の制服で見守り活動

学校安全ボランティア発足式

来賓として、笠間市民生活課・内桶克之課長と倉持淳子社協友部支所長より祝辞が述べられました。開式の後は、講話にはいり笠間警察署の星健二生活安全課長より「学校安全ボランティアの役割と犯罪の現況」というテーマで、色々なデータを交えて、わかりやすく話してくださいました。質疑の時間にはいると、たくさんの方の質問や意見が出て、皆さん方の関心の高さが伺われました。ボランティア協力者の方々は、これ



ベストと帽子

日本美術の特質を堪能

にじの会研修視察

から、オレンジ色の帽子とベストを着た姿で、学童の登下校時に合わせて、見守り活動を行うことになりました。ボランティアの皆さんに感謝するとともに、私達も、学童の安全に気を配り、協力していきたいと思いました。

北関道を一
路高崎へ、群馬県に入ると赤城おろしに迎えられた、

支部にじの会（渡辺米子会長）の研修会が、10月28日、会員や役員など33人が参加して行われました。渡辺会長は「多

くの方に参加していただき、会員相互の親睦を深めながら、今日一日美術鑑賞などで楽しんでください」とあいさつ、菅原毅支部長も激励の祝辞を送り、にじの会のさらなる発展を願いました。視察は、上州名物のからっ風が吹



美術鑑賞で心もほっこり

きぬく群馬県立近代美術館へ、当日は群馬県民の日とあって多くの来館者で賑わい、広い敷地内には色づき始めた木々を眺めながら館内へ入ると、戦後日本美術の転換点の催しが開かれており、美術の特質を存分に堪能しました。午後からは、JA高崎ハム工場を訪問し、担当者からビデオで説明を受けた後、ハムやウィンナーのできるまでを工場見学したり、試食コーナーではハムやあらびきウィンナー・チャーシューを存分に食べ放題、たくさんの方の土産を手に帰路につきました。



大旭支部では、毎年、各地区で開催される三世代交流事業に、助成を行っています。今年は次の地区で実施されました。

伝統と文化を学ぶ

二小児童が遊び体験

ほほをつたわる風も冷たくなり、元気がいっばいに児童の明るい声が響き渡る、11月8日「三世代ふれあいのつどい」が、友部第二小学校の校舎や体育館、グラウンドを会場に全児童と大旭支部関係者が集って開かれ、児童の小塙陸斗君のはじめの言葉で開始されました。富永ひろみ校長先生が「友二小は地域に愛されている学校です。今日は日本の伝統的な文化を学び、体験させていただく日です。伝統文化と遊びを心にきざみ、大いに楽しんでください

」とあいさつ。その後、教室や体育館、屋外に分かれ、支部役員らによって竹馬・めんこ・ペーゴマ・紙ひこうき・どんぐりごま・おりがみ・けんだまなど21種類の遊びやゲームが準備され、各会場ではボランティアのみなさんから伝統の遊び方を学び、はじめて体験する遊びに四苦八苦しながらも、親子で熱心に取り組みんでいました。

おわりのつどいでは、友部雄真君から感謝とお礼が述べられ、小坂瑞希さん、金子竜也君から花束が贈呈され、磯野さやかさんの終わりの言葉で終了しました。



竹馬ってなかなか難しいのネ

ビンゴゲームに熱中

旭平二区

11月9日、旭崎新農村集落センターで、旭平二区の三世代ふれあいの集いが行われました。

小島雄二区長の開会のあいさつで始まり、来賓として、山口伸樹笠間市長、菅原毅大旭支部長が出席され、祝辞を述べられました。

朝から雲が厚く、天候に恵まれないところもありましたが、屋外で、菊品評会・豆つまみ競争などの他に、子ども達に人気の綿あめづくりもありました。

屋内に会場が移ると、ビンゴゲームが始まり、子ども達が交替で乱数器を回し、出てくる数字に従って、次々とリーチ・ビンゴなどの喜びの声があがり、会場の雰囲気盛り上がりしました。

昼食の時間になると、女性の方々が腕によりをかけて作ったカレーライスをいただきました。市販されている力



急いで慌てず豆つまみ

防災訓練も合せて

旭台団地

レールで作ったものとは違い、大変こくのある美味しいカレーライスでした。

12月7日、旭台団地会館前広場で三世代交流会と総合防災訓練が開催されました。参加者は150人をこえる、多くのの方々でした。

開会に当たり、萩谷隆一実行委員長の主催者あいさつに続き、社協大旭支部の菅原毅支部長から祝辞を頂きました。

催しものは、防災講習会と芋煮会が行われました。

防災講習会は、笠間市友部消防署の協力によって、

- ① 消火器を使った消火訓練
- ② 模擬トンネル内の煙体験
- ③ AED操作講習

を体験しました。講話を聴いて、防災意識が一層高まりました。

芋煮会では大きな鍋で煮込まれた食材が、美味しい煮芋になり、参加者全員で初冬の味覚を楽しみました。

また、この催しに並行して、見守り支援者の協力を得ながら「災害時・要支援者に対する安否確認訓練」が行われました。



消火を体験！

地域の交流が定着

旭台

立冬もすぎ、冬の装いが近づいて来た11月9日、旭台地区（渡部悟平区長）の旭台つどいの会が旭台公民館を会場に、子ども会、老人会や祖父母、お父さん、お母さん、役員など約100人以上の住民が参加して盛大に開催されました。渡部区長と菅原毅大旭支部長が「皆さんが、協力し

あつて地域のふれあいと、地域の和を大きく広げて大切に、今日一日を楽しく過ごしてください」とあいさつ。

今年初の野菜即売が大好評、だいこん・にんじん・きやべつ・さつまいも・みかんなど、子どもたちが食材の大切さやお金の大切さを身をもって体験、用意した野菜はたちまち完売しました。

父兄たちは、はじめての餅つきに奮闘、杵を振るう姿に子どもは大喜び、つきあがつ

た餅はきなこ餅やおしるこになり、すぐにみんなのおなかにお母さん方自慢のけんち



初の野菜即売が大好評

た。

懇親会場では、小野武区長の主催者あいさつに続き、社協大旭支部から菅原毅支部長の祝辞を頂きました。

続く表彰式では、各ゲームの入賞者には賞品が、子ども達には学習ノートが贈られました。

お待ちかねの食事タイムはご婦人方の手作り料理が所せましと並べられて、参加者全員で舌鼓を打ちました。

楽しい秋祭りは、児童と育成会によるビンゴゲームをもって、散会になりました。

手作り料理に舌鼓み

旭崎一区

11月16日、旭崎新農村集落センターで、三世交代交流秋祭りが開催されました。会場は100人に迫る参加者で、大変なにぎわいでした。

また、年齢層

のバランスが取れており、地域の特徴が良く表れていました。屋外での催し物は、餅つきに加えて焼きそばや綿あめのコーナーもあり、小さな子ども達も大喜びの様子でし



技が伝承されました

女性部研修

高齢者の食事学

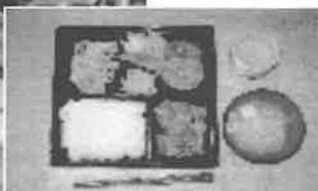
10月1日、女性部渡辺米子部長以下16人の会員が、笠間市社協会館の調理室を会場として、小澤美智子先生（管理栄養士）を講師に迎えて開催されました。

始めに小澤先生から「安全で、おいしいお弁当を・安心して、お召し上がり頂くためには・」をテーマに、食中毒防止対策などの衛生管理の講義とともに、盛り付け・配膳のポイントとして「食欲をそるよう」にすることが、特に大切ですよ」との、ご指導がありました。

調理実習では、食材をすりみにした「イカフライ」をは



高齢者にやさしい料理の数々



はじめ、高齢者に寄り添った、料理の数々が出来上がりました。

料理を列記しますと「イカフライ・レタスとトマトの添え野菜・実だくさんのつべい風煮・大根と油揚げの、ごま酢和え・漬物」でした。

女性部の方々には、配食事業を通じて高齢者の見守りのため、ますますご活躍頂きますよう、お願い致します。

祝敬老会

今年度の敬老会は、昨年と同様に各地区ごと開催され、大旭支部の開催状況は次の通りです。

水戸黄門様も登場

友部第二小学校

すっかり秋めいてきた10月11日、友部第二小学校体育館で敬老賀会が開催(16区)され、9人の米寿を迎えた方々を含む、招待者91人が出席しておこなわれました。

青木清実行委員長が「今年も皆さんの元気なお姿を拝見できて嬉しく思います。健康には注意されてお過ごしください」とあいさつ、山口伸樹市長も「皆様と一緒に長寿をお祝いできることを嬉しく思います。人生経験が豊富で、知識が豊かな方々、健康に留意され、3度の食事はきちんと取り、自分の健康は自分で守り、

いつまでも健康でいてください」とあいさつされ、村上典男県議会議員、石松俊雄市議会議員がお祝いに駆けつけました。

アトラクションとしてウクレレの演奏とフラダンス、吉田正次さんのハーモニカもくわわり、旅愁・ふるさとなど、参加者全員で合唱が披露されるなどして、なつかしい思いでに浸りました。

また、友部第二小学校児童(47人)による世界に一つだけの花・水戸黄門(黄門様と助さん格さんが登場)・鉄腕アトムなどの吹奏楽演奏と歌古賀みづき(6年)さんの作文披露、ハンドベル演奏、富永ひろみ校長先生の美しい独唱と、児童の歌や踊りに、お年寄



心に響いたハンドベル

り達は楽しい一時を過ごしました。

お祝いに手作りの金メダル

旭崎一区

9月7日、旭崎新農村集落センターで開催された敬老祝賀会には、26人のお客さまが出席されました。式典では、小野武区長の主催者挨拶に続いて、山口伸樹笠間市長のメッセージと、祝電が披露されました。

また、次世代を担う小学生から、手作り金メダルがお客さまに贈られました。

アトラクションでは、社協ボランティア「野菊の会」の皆様による、舞踊・キツネとひよつとこ踊りで、お目出度に華を添えて頂きました。

次の演目は「マハロ・ウクレレの会」のハワイアンバンド演奏と、ドウザ フラスタジオの皆様によるフラダンスの共演で、一層華やかなひと時となりました。食事は、ご婦人方の手で心

こもったお弁当に仕上り、皆さま大満足の様子でした。

散会の折に交わされていた「ありがとう！お元気で！」の言葉が、印象的でした。



ウクレレのリズムにのって!

心温まる運営

旭台団地

9月14日、旭台団地会館において、敬老祝賀会が開催されました。当日は、54人のお客さまで会場が満員の、盛況でした。

式典は、萩谷隆一実行委員長の主催者あいさつと、山口伸樹笠間市長の祝辞を頂きました。アトラクションでは、社協ボランティア「友部マジック遊友」の軽

妙な演技に、驚きと微笑みが見受けられました。

次のコーナーは、吉田正次さん(民生委員)のハーモニカと、久野進さん(友情出演)の、ギター演奏に合わせ、童謡・唱歌を元気に合唱しつつの間を、童心に帰られた様子でした。

お帰りのお客さまからは、「楽しかったよ！ありがとうございました！」と、感謝の言葉がかけられていました。

一方で、実行委員の方々に目を向けますと、ご近所同士の受付風景や、下足袋を添えた会場案内を始め、心温まる運営がなされておりました。



マジックを楽しむ皆様方

尺八の音色にうっとり

旭平二区

9月15日、旭平二区の集会場で敬老祝賀会が開かれ14人(26人中)の方が参加されました。小島雄二実行委員長のあいさつに続き、山口伸樹笠間市長他、

多くの方々からの祝辞が伝達されました。開会の式辞が終わると、アトラクションに移り、尺八の雲山先生による、五木の子守歌・北国の春・賛美歌など、様々なジャンルの民謡・演歌・クラシック等の演奏が披露されました。全員が尺八の音色に聞き入り、うつとりさせられ時間の経つのも忘れるほどでした。

尺八演奏の後、ビンゴゲームに移り、実行委員の方が読み上げる数字にそって、カードの数字と見比べ、着々と数字が揃う人がでるかと思えば、なかなか揃わない人もいて、ビンゴゲームの楽しい様子が窺えました。ビンゴになった順に素的な景品が配ら

れ、楽しい一時をすごされました。

閉会式の後、実行委員の見送りを受けて、元気に会場を後にされました。



笑顔がすてきな皆様

行政と地域が一体に

旭台

10月5日、旭台公民館で敬老祝賀会が開催され、最高齢者の上村クラ(95)さんはじめ15人が出席されました。

式典で、渡部悟平区長が「今

年も皆さんの元気なお姿を拝見できて嬉しく思います。

年々高齢者が多くなってきたいますが、健康には十分注意され、来年もお会い出来るよう楽しみにしています」とあいさつ。参加者の紹介後、山口伸樹市長からも「高齢者が安心・安全して暮らせるよう、行政と地域が一体となつて取り組めるよう、取り組んでまいります」との祝辞が紹介されました。

その後、米川操民生委員から一人一人が紹介され楽しい



マジックを楽しむお客様

会話も弾む食事会

若狭山団地

10月19日、若狭山団地公民館で、午前の部では、三世代が揃って交流会が、午後の部では敬老祝賀会が行われました。

午前10時から、団地住民の健康と安全を願って、神主さんのお払いを受け、御神輿を担いで、団地内を一巡した後、全員で記念写真をとりました。

次に、班対抗のゲーム(輪投げ、グラウンドゴルフのホールインワン、ダーツボード、防災バケツ玉入れ)が始まり、三世代が一体となってゲームを楽しみました。

午後からは、公民館内に全

員が集まり、敬老祝賀会が行われました。佐々木博区長より、敬老の祝辞と笠間市長のメッセージが伝達され、一人一人にお祝いの記念品が手渡されました。

式典の後、会食にはいりテーブルに盛られた沢山のご馳走をいただきながら、ビンゴゲームに興じ、早くビンゴになった人から順に、景品が手渡されるなどして、雰囲気がありあがり、住民の皆さんの親睦が一層深まりました。



団地の皆様に囲まれて



山口伸樹市長による始球式

11月22日、晴天のもと友部第二小学校グラウンドにおいて、第12回大旭支部ゴルフラウンドゴルフ大会が開催されました。菅原毅支部長の主催者あいさつに続いて、山口伸樹市長と倉持淳子社協友部支所長より祝辞をいただきました。また、日頃から支部活動を支えていただいている、社協の片岡博司グループ長よりあいさつがありました。

今回の大会に参加した団体は、全部で11団体で、参加者は92人でした。

試合開始に先立ち、参加者

11団体・92人が腕を競う 大旭支部グラウンドゴルフ大会

(92人)を1グループ6人編成とし、全体で16のグループが発表されました。

また、A・B2つのコートが準備され、それぞれのコートには8ホールが設置されました。

全グループが16ホールについて、試合開始が宣言され、一斉にゲームが進行していき、1回戦が終了しました。1回戦にはいり熱戦が繰り広げられました。

試合の結果は、37打数を出した飯塚智二氏が優勝されました。しかし、順位の間の差は僅少でした。

閉会式に入ると、1位から10位までの成績が発表され、参加者から盛大な拍手が送られました。

表彰式の後には、にじの会の皆さんによる心のこもった、温かいカレーライスをいただきました。



10位までの入賞者

優勝	飯塚 智二氏 (新生会)
準優勝	中村 好雄氏 (ときわ会)
第3位	木村 孝男氏 (わかさ山)
第4位	笹嶋 秀介氏 (新生会)
第5位	大沢 圭三氏 (新生会)
第6位	丸山 とし氏 (旭台睦会)
第7位	大高 忠氏 (ときわ会)
第8位	兼子 甲氏 (ときわ会)
第9位	平倉 孝裕氏 (大沢下長生会)
第10位	菅原 毅氏 (ときわ会)

在宅介護者 ふれあいサロン



プロの立場から介護の話

10月18日、旭崎新農村集落センターで、在宅介護に関する懇談会が行われました。

出席者は、介護事業に携わっておられる3人の専門家、社協の片岡博司グループ長、在宅介護者、民生委員、大旭支部役員の方々でした。

出席者の自己紹介の後、「笠間市における介護事情の実態について」というテーマで、専門家の立場からお話がありました。

次に、出席者それぞれから意見や感想が述べられ、活発な情報交換が行われました。

最後に、菅原毅支部長よりお礼の言葉が述べられ、懇談会が終了しました。

チャリティーバザーのお礼 24時間テレビ

8月30日の、チャリティーバザーへの皆様のご協力ありがとうございました。

心配していた天候にも恵まれまして、朝10時頃より大旭支部女性部有志が集まり、12時〜17時までのイベントに参加いたしました。

お陰様で売上金は、4万8千円余になり、募金箱に入らせて頂きました。協力して頂いた皆様方に、感謝申し上げます。

渡辺米子

あとがき

104号で取材した「学校ボランティア発足式」は、従来行われていたボランティア組織を明確化しました。

また「在宅介護者ふれあいサロン」では、介護の専門家のお話を聞くなど、新しい試みが行われました。

広報委員会では、今後も支部活動をお知らせします。